



木曽林務課だより

1月

木曽の山の中では、荒廃した森林の復旧と災害を未然に防ぐため**治山事業**が進められています。今回は、治山事業の進め方と現在進められている治山ダム（谷止工）の工事箇所を紹介します。

荒廃した森林の復旧を着実に進めています

大雨などで崩れた山腹や荒廃した溪流などの復旧や、新たな災害を未然に防止するため、国の補助を受けるなどして治山事業を進めています。

治山事業による工事の進め方は次のとおりです。

地域からの要望→現地調査及び測量を行い工法と施工位置の決定(写真1)→設計→地域住民説明会→工事発注→準備工(支障木の伐採や河川水の迂回など 写真2)→治山ダムや土留工などの治山施設の本体工事(写真3)→完成
※治山事業の施工により溪流や山腹が安定して森林が復旧

写真は、下流への土砂流出を防ぐために、現在、上松町で行われている治山ダム（谷止工）の工事の様子です。



写真1 現地調査を行い治山ダムの位置を決定



(完成イメージ)
※他の箇所です

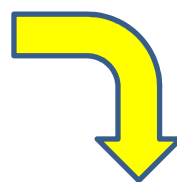


写真2 河川の流れを迂回させて土砂を掘削（谷止工施工位置）



写真3 コンクリートを打ち込むために型枠を設置（工事は続く…）